

令和 6 年度在宅医療介護連携推進事業 広報啓発部会（案）

1. 目的

市民が在宅医療や介護について理解し、在宅療養に必要なサービスを適切に選択できるようにする。また、適切な在宅療養を継続するために、終末期ケアの在り方や在宅での看取りについて理解促進をする。

2. 部会委員

職種	氏名	所属	役割
歯科医師	吉 寄 太朗	吉崎歯科医院	部会長
医療相談員	白 井 健志	三郷中央総合病院	副部会長
社会福祉士	趙 理明	地域包括支援センター早稲田	
介護支援専門員	杉 山 郷美	福祉のニッカ介護相談室	
介護福祉士	松 村 佐知子	デイサービスセンター采女の里	

3. スケジュール

令和 6 年 6 月 第 1 回部会
 7 月 第 2 回部会
 令和 7 年 1 月 第 3 回部会 （今年度の評価及び次年度の方針検討）

4. 実施内容 令和 5 年までの内容～

- ・市民向け ACP に関する普及啓発
- ・市民向け 啓発物の作成、配布

※市民講演会

R 1 年度：介護ミニ講座（介護サービスの入り口（包括）をメインに 2 か所で開催）

R 5 年度：「在宅看取り」講座 「在宅看取りの絵本」動画上映。三郷市文化会館
 早稲田地区対象

※市民向け啓発物配布

R 2 年度：市民の医療介護の相談と理解促進への入り口として「介護の絵本」B5 冊子 3000 部
 制作及び配付

R 3 年度：人生会議へきっかけと理解促進への入り口として「人生会議の絵本」B5 冊子 2000 部
 制作及び配付

R 4 年度：在宅看取りへきっかけと理解促進への入り口として「在宅看取りの絵本」B5 冊子
 3000 部制作及び配付

5. 予算 40 万

6. 在宅医療・介護について市民に対する啓発課題

①三郷市在宅医療・介護連携推進協議会で出ている市民に対する課題と対策案

課 題：日常の療養（定期受診ができなくなっている人がいる）

対策案：医療介護サービスについての知識啓発・定期受診の大切さ

②令和 5 年までの広報啓発部会で啓発活動を行っている三郷市の課題

・ACP（看取りを含む）の普及啓発

7. 今年度の方針案について

・令和 6 年度は会議を 3 回、市民向け講座を数回、開催する予定です。

・活動として令和 5 年度は、「在宅看取り」をテーマに市民向け講座を早稲田地区で行いました。

また、「在宅看取りの絵本」を利用した動画を作成し、講座の資料材料としました。

令和 6 年度は在宅医療・介護について、三郷市民に対する啓発課題を検討すると共に、令和 5 年度に行った在宅看取り講座を別の地区で行う予定をしています。